



<報道関係各位>

日本のまつり・故郷の味

2023年1月23日

ふるさと祭り東京 2023—日本のまつり・故郷の味—【会期終了事後レポート】

10日間で延べ 337,436 人が来場！

第 12 回全国ご当地どんぶり選手権では北海道の「十勝牛とろ丼」がグランプリを獲得！

開催期間：2023年1月13日(金)～22日(日)【10日間】

ふるさと祭り東京実行委員会は、1月12日(金)から22日(日)までの10日間、東京ドームにて、全国各地に伝わる伝統の“祭り”や“ふるさとの味”が一堂に会した『ふるさと祭り東京 2023—日本のまつり・故郷の味—』を開催し、**337,436 人**のお客様にご来場いただきました。

最終日の1月22日(日)には、「第12回全国ご当地どんぶり選手権」の結果発表・表彰式を開催しました。どんぶりを食べたお客様による投票の結果、投票対象の14どんぶりのうち、北海道の「十勝牛とろ丼」が、見事**グランプリ・観光庁長官賞**に輝きました。「十勝牛とろ丼」は前前回3位、前回は準グランプリだったため、悲願のグランプリ獲得となりました。準グランプリ(第2位)は山形県の「究極の山形牛和の奏・焼きすきステーキ丼」、第3位は北海道の「根室花咲丼」、第4位は熊本県の「あか牛ハンバーグとステーキ丼」、第5位は山梨県の「富士の介と脂キハダの漬け丼」でした。なお、グランプリには賞金50万円+副賞、準グランプリには賞金30万円+副賞、第3位には賞金10万円+副賞を授与しました。



「第12回全国ご当地どんぶり選手権」
結果発表・表彰式の様子

グランプリ受賞の「十勝牛とろ丼」の牛とろフレークを加工している「有限会社十勝スロウフード」の藤田恵さんは、「長い間グランプリを取ることができなかったが、今回ようやくグランプリを獲得することができました。牛とろ丼は牛を育てるところからこだわり、創意工夫を凝らしたどんぶりです。この3年間様々なことがあったが、応援してくださった皆さまに感謝を申し上げます。」と喜びを語りました。

<第12回全国ご当地どんぶり選手権・結果>

【グランプリ・観光庁長官賞】



十勝牛とろ丼
株式会社円らく
(北海道)

【準グランプリ】



究極の山形牛和の奏・
焼きすきステーキ丼
株式会社なごみ農産
(山形県)

【第3位】



根室花咲丼
カニの匠クラクラ
(北海道)

※全国ご当地どんぶり選手権は、お客様がどんぶりを食べた後に、気に入ったどんぶりに投票していただき、その投票によって順位が決まります。

また、会期中、「青森ねぶた祭」「弘前ねぶたまつり」をはじめ、「秋田竿燈まつり」「高知よさこい祭り」「沖縄全島エイサーまつり」など全国各地のお祭りが会場内で山車の運行や演舞を披露し、『ふるさと祭り東京』から元気と活気を発信しました。

ふるさと祭り東京実行委員会 石野貴裕総合プロデューサーは、「本当に多くの皆様に支えられ、3年ぶりの開催を迎えることができました。イベントを通じてご紹介した日本のお祭りやご当地の味を、ぜひ今度はそれぞれのご当地へ足を運び、体感していただきたいと思います。」と語りました。